

六甲山のスミスネズミを探せ

村上 文彦・松田 剛宗・野口 聡孝・石田 光朔・長谷川裕一・岸野 博明
時 浩源・島川 法久・宮田 敬広・岩滝 健志・松崎 新・恩地 実
(甲南中学校・高等学校 生物研究部)

私たち甲南中高生物研究部は、中学1年から高校3年まで23名(今年度)が所属する文化部では校内最大クラスのクラブです。虫好き少年や魚好き少年が集まってわいわいやっています。いろいろなことを研究していますが、今回は、その中でも特に力を入れているネズミの調査について、中学1年が中心になって報告させていただきます。

2001年から神戸市西区にある甲南学園の所有している里山(アカマツを主とした二次林)で生け捕り罠を用いての小捕獲調査を、夏休みや春休みの合宿を中心に行っています。40×150mの調査地に10×10mの方形区をつくり、各方形区の中央に罠を仕掛け、捕獲したネズミに印をつけて放し、また捕獲するという標識再捕法による調査です。罠はシャーマン式生け捕り罠といい、中に餌としてピーナッツを入れてネズミがそれを食べに入ってくると入り口が閉じて生け捕るという仕掛けです。捕獲されたネズミは種類、性別、体重、頭胴長、尾長、耳長、後足長、繁殖状態を測定し、捕獲された場所で放します。この調査結果は昨年度の動物学会の高校生発表で発表しました。

普段はこのような調査を行っていますが、昨年はそれとは別にスミスネズミという珍しいネズミを調査しました。1904(明治37)年、英国人博物学者リチャード・ゴードン・スミスによって六甲山で始めて捕獲されたネズミで、発見者の名前にちなんでスミスネズミと名づけられました。普通にイメージするネズミに比べ尾が短く耳が目立たないのが特徴です。

昨年の三月末に、六甲山の神戸市立森林植物園で兵庫県立人と自然の博物館の鈴木武先生と三泊四日の合同調査をおこないました。吹雪の中で我々は死の恐怖と戦いながら、一人の犠牲者も出さずに100個の罠を三日間仕掛けたのですが、アカネズミやヒメネズミしか捕獲できませんでした。しかし、その直後六甲山の記念碑近くに住んでいる方の飼っている猫がスミスネズミを捕まえたという情報を入手しました。そこで五月の連休にその猫の行動範囲を中心に第二回合同調査を一泊二日でおこなったところ幸運なことにスミスネズミを捕まえることができました。

この調査は神戸新聞にも何度か紹介され、その成果によって学校から、文化部で活躍したクラブに与えられる文化賞も頂きました。

神戸新聞 2006年5月8日 月曜日 朝二社 15 26ページ

スミスネズミ 見つけた!

102年前に神戸市の六甲山で発見されたスミスネズミの生息調査が6日夕、山は近くの森であり、若いメス1匹の捕獲に成功した=写真。六甲山系で生きた姿が確認されたのは、1989年の調査以来。兵庫県立人と自然の博物館と甲南高校が合同で実施。65個のわなに野ネズミ9匹がかかり、1匹が全長133mmの「スミス」だった。同博物館で飼育を試み、展示も検討する。(高田裕司)



スミスネズミは地上しか移動できないので、道路などにより棲息地が分断されてしまうと絶滅の恐れがあります。その後の調査でもスミスネズミを捕獲することができたので、これからも調査を続けて六甲山でのスミスネズミの分布状態を調べ、スミスネズミが絶滅しないように頑張りたいと思います。

神戸新聞 2006年5月5日 金曜日 朝一社 15 27ページ

六甲山で102年前に発見、登録された希少種

日本産何種で、ずんずん減った。絶滅の恐れがある希少種のスミスネズミ。兵庫県立六甲山自然公園で、スミスネズミの調査が行われ、102年前に発見されたスミスネズミの生息地が確認された。調査は、六甲山自然公園の職員と、神戸大学大学院の学生らによる。調査の結果、スミスネズミの生息地が確認された。調査は、六甲山自然公園の職員と、神戸大学大学院の学生らによる。調査の結果、スミスネズミの生息地が確認された。

スミスネズミ 生息地確認

17年ぶり 生息確認

調査は、六甲山自然公園の職員と、神戸大学大学院の学生らによる。調査の結果、スミスネズミの生息地が確認された。調査は、六甲山自然公園の職員と、神戸大学大学院の学生らによる。調査の結果、スミスネズミの生息地が確認された。



スミスネズミの捕獲調査前に、神戸大学大学院の学生らと六甲山自然公園の職員らによる調査が行われた。写真左から、神戸大学大学院の学生らと六甲山自然公園の職員らによる調査が行われた。



調査は、六甲山自然公園の職員と、神戸大学大学院の学生らによる。調査の結果、スミスネズミの生息地が確認された。調査は、六甲山自然公園の職員と、神戸大学大学院の学生らによる。調査の結果、スミスネズミの生息地が確認された。